



株 主 の 皆 さ ま へ

第42期 報 告 書

2014 . 3 . 1 ~ 2015 . 2 . 28



イオンディライト株式会社

証券コード：9787

5期連続の増収 11期連続の増益(過去最高益)を更新

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第42期(2014年3月1日～2015年2月28日)における業績と事業への取り組みにつきまして、以下、ご説明いたします。



代表取締役社長
なかやま いっぺい
中山 一平

■経営環境

建物の大型化や複合化が進む中、建設やビルメンテナンス業界では人手不足が顕在化しており、多数の有資格者を含む豊富な人材を保有するファシリティマネジメント会社の需要が拡大しています。企業や団体において、業務品質の向上とコスト削減、防災対策の観点から施設の管理業務を一括して委託する考え方が広がり、施設、及びその周辺環境に安全・安心・快適を提供する当社グループの総合ファシリティマネジメントサービス(総合FMS)のニーズが益々高まってきました。

■当期の業績

当連結会計年度の連結業績は、売上高では建設施工事業で前年を下回ったものの国内新規受託、中国・アセアンを含めた連結子会社の貢献もあり、建設施工事業を除く全セグメントで前年を上回り、2,667億5百万円(対前年比103.7%)となりました。利益面では、生産性向上と効率化に向けた施策を推進した結果、営業利益158億61百万円(同104.9%)、経常利益159億43百万円(同105.6%)、当期純利益87億25百万円(同106.9%)となりました。これらの結果、5期連続増収、11期連続増益、過去最高益を更新しました。

■当社グループの主な取り組み

・国内における新たなサービスの展開

複数の新規大型商業施設、都心の複合型ビル、ホテル、医療施設、飲料メーカーの工場等へ新たにサービスの提供を開始しました。また、期初に「病院・介護プロジェクトチーム」を新設し、今後ファシリティマネジメントの需要拡大が見込まれる病院・介護施設市場へのサービス開発に取り組むとともに、同市場におけるシェア拡大に向けた営業活動を強化した結果、複数の医療法人とサービス提供に関する新たな契約を締結することができました。

・清掃事業で品質・収益性の向上

競争優位性を更に強固なものとするため、強みである清掃事業において、業務の標準化を進めサービス品質と生産性の両面での向上を図りました。更に、現場の従業員が主体となり日々の気づきや創意工夫を直接業務に活かすことで働きがいとやりがいを一層高める全員参加型の小集団活動「働きやすさ追求活動」を導入し、推進しました。

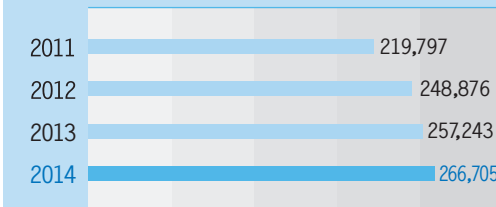
・海外における総合FMS事業の更なる拡大

海外では、総合FMS事業の更なる拡大を図るため、各国・各地域とのネットワークを構築、品質管理の手法や環境対応技術の展開を推進してまいりました。特にグローバルに事業展開を行う企業に対する営業活動を推進した結果、中国では累計で151件、マレーシアでは119件、ベトナムではスポット案件を中心に169件へサービスの提供先を拡大しました。

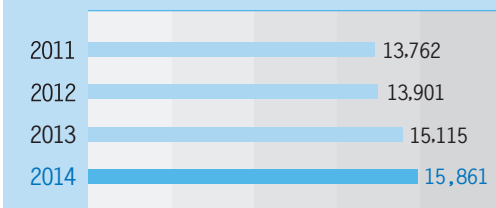
【連結財務指標】

売上高

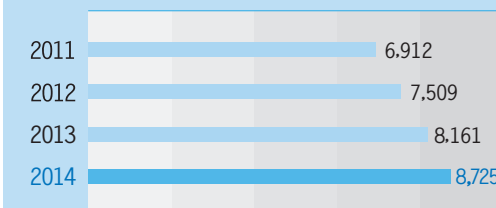
(単位：百万円)



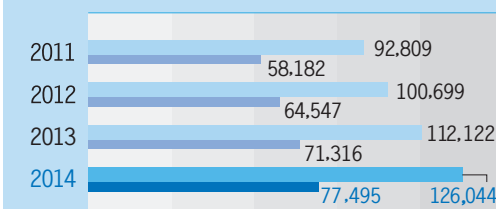
営業利益



当期純利益



総資産・純資産



● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

Consolidated Financial Sheets

連結財務諸表（要約）

(百万円)		
連結貸借対照表	当連結会計年度 2015年2月28日	前連結会計年度 2014年2月28日
(資産の部)		
Ⅰ.流動資産	104,477	90,347
Ⅱ.固定資産	21,567	21,775
有形固定資産	4,361	4,258
無形固定資産	10,937	11,687
投資その他の資産	6,268	5,829
資産合計	126,044	112,122
(負債の部)		
Ⅰ.流動負債	46,640	39,306
Ⅱ.固定負債	1,908	1,500
負債合計	48,549	40,806
(純資産の部)		
Ⅰ.株主資本		
資本金	3,238	3,238
資本剰余金	18,850	18,818
利益剰余金	52,388	46,235
自己株式	△443	△449
株主資本合計	74,032	67,842
Ⅱ.その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,194	1,365
為替換算調整勘定	601	346
退職給付に係る調整累計額	△422	—
その他の包括利益累計額合計	1,373	1,711
Ⅲ.新株予約権	166	165
Ⅳ.少数株主持分	1,922	1,597
純資産合計	77,495	71,316
負債純資産合計	126,044	112,122

(百万円)		
連結損益計算書	当連結会計年度 2014年3月1日～ 2015年2月28日	前連結会計年度 2013年3月1日～ 2014年2月28日
Ⅰ.売上高	266,705	257,243
Ⅱ.売上原価	231,588	223,528
売上総利益	35,117	33,714
Ⅲ.販売費及び一般管理費	19,256	18,599
営業利益	15,861	15,115
Ⅳ.営業外収益	228	163
Ⅴ.営業外費用	145	186
経常利益	15,943	15,092
Ⅵ.特別利益	15	28
Ⅶ.特別損失	357	529
税金等調整前当期純利益	15,600	14,592
法人税、住民税及び事業税	6,675	6,343
法人税等調整額	△144	△150
法人税等合計	6,530	6,192
少数株主損益調整前当期純利益	9,070	8,399
少数株主利益	344	237
当期純利益	8,725	8,161

(百万円)		
連結キャッシュ・フロー計算書	当連結会計年度 2014年3月1日～ 2015年2月28日	前連結会計年度 2013年3月1日～ 2014年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,234	21,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,365	△16,632
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,594	△2,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	172	99
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,447	2,351
現金及び現金同等物の期首残高	12,028	9,676
現金及び現金同等物の期末残高	15,476	12,028

Column

.....

厳格なフロンガス規制で ストップ地球温暖化!

フロンは、大気中に放出されるとオゾン層を破壊して紫外線増加や地球温暖化につながる物質です。このフロンの大気中への排出を抑制するため、2015年4月に「フロン排出抑制法」が施行されました。イオンディライトは、冷凍空調機器をメンテナンスする立場から、フロン漏えい防止に力を注いでいます。

.....

「冷媒」として使われるフロン

エアコンや冷凍冷蔵庫などの冷凍空調機器には、空気を冷やす「冷媒」として一般的にフロンが使われます。機器からフロンが漏れることを防ぐ取り組みは、地球温暖化を防止する有効な手段であり、フロン排出抑制法の大きな柱にもなっています。

イオンディライトは、環境負荷低減の取り組みの一環として、フロン漏えい対策を積極的に展開しています。それを支えるのが「冷媒フロン類取扱技術者」です。

実践的な教育で技術者を育成

冷媒フロン類取扱技術者とは、冷凍空調機器を熟知し、そこで使われるフロンを管理できる資格のこと。この資格を取得すると、施設におけるフロン漏えいに関する法定点検をはじめ、漏えいの早期発見や応急修理などを適格に実施できます。

イオンディライトは、業界に先駆けて冷媒フロン類取扱技術者の資格取得を推進。資格取得とともに、研究・研修施設「イオンディライトアカデミーながはま」で冷凍空調機器のトラブル事象を再現し、対応能力を養成するなどの実践的な教育を行っています。現在では400名を超える有資格者が最前線で活躍し、フロンの漏えい予防はもちろん、「環境価値」を最大化する施設環境づくりに取り組んでいます。



Segment Information セグメント概況

イオンディライトの 総合FMS

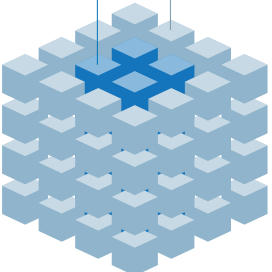


企業の経営基盤であるフ
企業を活性化し
イオンディライト
(ファシリティマネ

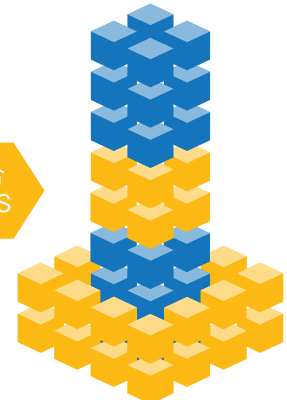
ァシリティを最大限に活用、
強い基盤をつくる
の「総合FMS
ジメントサービス」。

中核事業

ファシリティ業務



ファシリティ活用前



ファシリティを最大限に活用

総合
FMS

建設施工事業

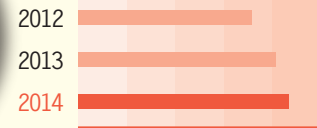


売上高

419億72百万円
(対前年同期比92.0%)

- イオングループ内LED化工事の
一巡により、建設施工事業全体
では、前年を下回る結果に。
- 店舗活性化工事では受託額が大幅
に増加。管理物件において、きめ
細やかな点検を行い維持修繕工事
の受託拡大に取り組む。

資材関連事業



売上高

476億18百万円
(対前年同期比106.9%)

- 新規受託や既存取引先の新店対
応など、順調に取引を拡大。イ
オンのプライベートブランド「
トップバリュ」のパッケージ包
材の提供も拡大する。
- 電子商談による仕入れコストの
削減や物流コストの削減等、
収益性改善に向けた取り組み
を推進。

自動販売機事業



売上高

348億25百万円
(対前年同期比104.5%)

- 前期に設置した自動販売機の売
上が寄与。新規出店の大型商業
施設への新たな自販機の設置、
自販機専用のプライベートブラ
ンド飲料商品の開発等、販売強
化に向けた取り組みを推進。
- デジタルサイネージ型自販機で
は、動画による広告枠の提供に
よる新たな事業モデルの構築に
取り組む。

サポート事業



売上高

155億22百万円
(対前年同期比114.5%)

- イオンコンパス(株)では、小売
業者向けの海外視察をはじめと
したイベント事業の販売を強化
した結果、業績が好調に推移。
- (株)カジタクでは、家事代行サ
ービスをパッケージ化した「家
事玄人(カジクラウド)」の拡
販に加え、家事代行・生活支援
サービスのメニューも拡充。

設備管理事業



※BEMS：ビルエネルギーマネジメントシ
ステム。ビルの機器・設備等を
管理・制御し、エネルギー消費
量の削減を図るもの。

警備事業



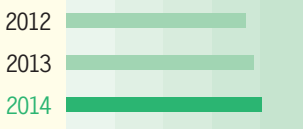
売上高
458億39百万円
(対前年同期比105.5%)

- 大型商業施設の新規受託に加えて、
国内外に向けて「設備管理一体型省
エネサービス事業」の開発を推進。
- BEMS*の導入や、施設の特性に
応じた最適なオペレーションによる
省エネ実績の評価から各種省エネ機
器の拡販を実施。

売上高
366億22百万円
(対前年同期比107.0%)

- 従来の施設内警備に館内インフォ
メーション等の接遇サービスを取り
入れたアテンダーサービスが新
たに複数店にて採用。更なる拡大
を目指す。
- 同サービスを、中国やベトナム
でも展開、国内外で高い評価。

清掃事業



売上高
442億87百万円
(対前年同期比104.6%)

- 全国の協力企業と一体となって清掃
工程の標準化を推進。現場単位の小
集団活動を「働きやすさ追求活動」
として導入し、現場が主体となった
改善活動を継続的に実施する仕組み
を構築。
- 医療施設に向けた独自の衛生清掃
モデルを構築し、病院・介護施設
市場での事業拡大に向けた取り組
みを推進。

ベトナムで届ける日本式「安心」と「おもてなし」



当社は、2012年にイオンディライトベトナムを設立し、現在169物件でサービスを提供しています。今回はベトナムにおける日本式サービスについてご紹介します。

● ベトナムでの営業状況

現在イオンディライトベトナムでは、イオングループ企業、日系企業、外資系企業に対しサービスを提供しています。同社では業務ライセンスを8件保有し、設備管理・警備・清掃といったビルメンテナンスの分野から自販機、不動産管理サービス、社員食堂サービス、など幅広い分野で業務を行うことが可能となっています。

● 日本式「おもてなし」をお届け

その中でもサービスの核としているのが日本の高品質とおもてなしの心を伝えるサービスです。店内のご案内係として女性だけで組織した「カスタマーセキュリティ」によりきめ細やかなサービスを提供、ベトナムのメディアからも多くの取材を受け、SNSでも反響が広がるなど、同社の提供価値の一つとなっています。

● 高品質で「安心」を実現

ベトナムでは清潔に関する感覚や施設内の清掃状態は発展途上の状態にあります。その中で同社はベトナムの事情に合わせ改良した清掃マニュアルを導入、特に施設の入り口付近・トイレ・フードコートの高品質を保ち、来訪されるお客さまに心地よい空間を提供しています。その清掃状況がショールームとなり、新たなお客さまより引き合いを頂くなど、品質の高さには一定の評価を頂いています。

更に、受託業務の垣根を越えて、遂行レベルの把握と品質管理を行う「ユニットコントローラー」という専任者を設置するなど品質維持向上に努めています。「ユニットコントローラー」には日本式の品質・業務遂行方法を定期的に教育しており、特に外資系・日系企業のお客さまには、全体の品質レベル保持のために有用と評価頂いています。

● 今後の展望

2015年4月から、同社はハノイ支店の営業を開始、ベトナム北部での業務基盤として始動させています。また今後、更に広い地域、および業種でのサービス提供も視野にいれています。

これからサービス提供を広げていく上でも、キーワードは「安心」と「おもてなし」。現状のサービスレベルをショールームに、日本式とベトナムの慣習を融合したサービスを展開していきます。

イオンディライトベトナム

日本企業初の異業種ライセンスの同時取得で日本のサービスを提供。ベトナムにおいて、総合FMS事業を展開。

62/7 Thach Thi Thanh Street, Tan Dinh Ward,
District 1, HCMC, Vietnam
TEL : (+84-8)-3820-2085



イオンディライトベトナム
業務本部
カスタマーセキュリティ課
スーパーバイザー

ダオ・チャン・
フン・ユンさん



1. 担当している職務は何ですか。

イオンモールタンフーセラドン店でカスタマーセキュリティのスーパーバイザーをしています。

2. 今までで最も苦労したことを教えてください。

2014年1月、ベトナム初のイオンモールが開業した際です。事前研修にはない事例が多く発生、即時の判断を部下から求められ、決断をしていかなければならませんでした。

3. ベトナムの「おもてなし」を取り巻く状況とは。

まずはスタッフが「おもてなし」の考え方を理解出来るよう、OJT指導を長期間行いました。また私達は高齢者や妊婦の方のサポートなどを行っています。ベトナムにはそのようなサービスが無く、当初は不思議がられました。しかし、次第に私達のサービスが浸透してきたと感じています。

4. これから目指していきたいことは何ですか。

接客サービスの向上と均一化を図るため、カスタマーセキュリティの人材教育専門チームを立ち上げたいと考えています。



Topics トピックス

衛生清掃 病院チェーン受託で本格始動

当社は、2014年からの中期経営計画に基づき、「衛生清掃」を武器として病院・介護施設への営業活動を進めてまいりました。その結果、2015年4月より北海道及び関西の病院チェーン様、計33施設において総合管理業務を受託しました。

「衛生清掃」では欧州発祥の衛生プログラムの導入により、汚染度に応じたゾーニングで清掃資機材や清掃頻度を分別、交差汚染を防止するとともに効率化を図っています。更に当社の広域災害時支

援体制や総合受託力が評価され、今回の受託に繋がりました。

当社では今後も病院・介護施設に対し営業を推進、「衛生清掃」を拡大していく予定です。



受託した病院の1つ

清掃で小集団活動、全社を挙げて開始

当社は、2014年12月より清掃における小集団活動「働きやすさ追求活動」を開始しました。これは各就業先における業務のムリ・ムラ・ムダをなくし、やりがいのある働きやすい職場とするため、全社を挙げて取り組んでいく活動としています。就業先でチームを作り清掃担当者一人一人の意見を吸い上げ、実行していきます。

11月に行われたキックオフミーティングでは、推進事務局長である社長の中山より「皆さんで知恵や意見を出しあい、明るい職場づくりをめざしてほしい」との講話がありました。

活動では、今までに業務に使用する資材・什器の整理整頓・配置の工夫から、作業シフト組み換えによる重点作業の強化、移動時間の短縮や作業時の臭い・衛

生面の改善などの業務効率向上と業務環境改善に繋がる施策が挙げられました。更に「働きやすさ追求活動通信」を毎月発刊、ベストプラクティスを全国で共有するとともに活動のモチベーション向上を図るなど、推進に積極的に取り組んでいます。



キックオフミーティングの様子



Corporate Data 会社概要(2015年2月28日現在)

社 名 **イオンディライト株式会社**
AEON DELIGHT CO., LTD.

創 業 1972年11月16日
資 本 金 323,800万円
事 業 内 容 総合FMS（ファシリティマネジメントサービス）事業
従 業 員 数 3,899名 グループ合計12,087名
本社所在地 **【大阪本社】**
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-3-2 南船場ハートビル
【東京本社】
〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー8F

連結子会社 イオンディライトアカデミー株式会社
イオンディライトセキュリティ株式会社
環境整備株式会社
株式会社ドゥサービス
エイ・ジー・サービス株式会社
株式会社カジタク
FMSソリューション株式会社
イオンコンパス株式会社
株式会社ジェネラル・サービスーズ
Aライフサポート株式会社
永旺永楽（中国）物業服務有限公司
永旺永楽（杭州）服務外包有限公司
永旺永楽（江蘇）物業服務有限公司
武漢小竹物業管理有限公司
AEON DELIGHT (VIETNAM) CO.,LTD.
AEON DELIGHT (MALAYSIA) SDN.BHD. その他9社

取締役・監査役
(2015年5月22日予定)

代表取締役社長	中 山 一 平
取 締 役	山 田 隆 一
取 締 役	早 水 恵 之
取 締 役	家 志 太 二 郎
取 締 役	相 馬 勝
取 締 役	古 谷 寛
取 締 役	山 里 信 夫
取 締 役	定 岡 博 規
取 締 役	古 川 幸 生
取 締 役	神 谷 和 秀
取 締 役	佐 藤 博 之
取 締 役	藤 田 正 明
監 査 役	渡 部 和 伸
監 査 役	山 浦 耕 志
監 査 役	津 末 浩 治
監 査 役	高 橋 司

東証IRフェスタ出展報告

当社は、2015年3月13日・14日に行なわれた「東証IRフェスタ2015」に出展いたしました。当社ブースでは、当社事業等についての動画放映、パネル・株主優待品を配置し、事業内容・当社の業績・配当についてご説明させていただきました。また、会社説明会では、代表取締役社長 中山一平より、事業紹介・当社の強み・総合FMSのポテンシャル・今後の成長戦略などについてお話させていただきました。



株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日
基準日 2月末日
(そのほか必要がある場合はあらかじめ公告いたします。)

定時株主総会 5月
単元株式数 100株
権利確定日 期末配当 毎年2月末日
中間配当 毎年8月31日

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や
買取請求等株主様の各種お手続きは、原則とし
て口座を開設されている証券会社等経由で行な
っていただくこととなりますので、ご利用の証
券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別
口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次いた
します。

お問合せ先 なお、支払明細の発行に関するお手続きに
つきましては、みずほ信託銀行の下記連絡
先にお問合せください。
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

お取扱店 みずほ証券
本店、全国各支店および営業所
プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でも
お取扱いたします。
※カスタマープラザではお取扱できませんのでご了承ください。
みずほ信託銀行
本店および全国各支店
※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

未払配当金の お支払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります)

株式の状況 (2015年2月28日現在)

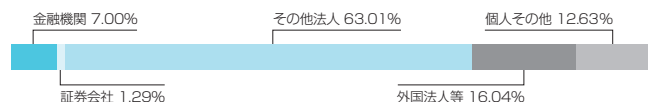
発行可能株式総数 86,400,000株
発行済株式総数 54,169,633株
株主数 13,928名

大株主の状況 (千株未満切り捨て) 所有比率は発行済株式に対する比率です。

順位	株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
1	イオンリテール株式会社	23,261	42.94
2	イオン株式会社	9,103	16.81
3	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,072	1.98
4	イオンディライト取引先持株会	873	1.61
5	ピーエヌビー パリバ セック サービス ルクセンブルグ ジャステック アビディン グローバル クライアント アセツ	764	1.41
6	日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	685	1.27
7	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	648	1.20
8	イオンディライト従業員持株会	601	1.11
9	三菱UFJモルガンスタンレー証券 株式会社	547	1.01
10	エイチエスビーシー ファンド サービスシ ズ クライアント アカウント 006	501	0.93

(注) 上記の所有株式数の他に、当社は自己株式1,645千株(発行済株式総数に対する
所有株式数の割合3.04%)を所有しております。

所有者別株式分布状況



ホームページ上で公告・各種資料がダウンロードできます。

<http://www.aeondelight.co.jp/ir/>